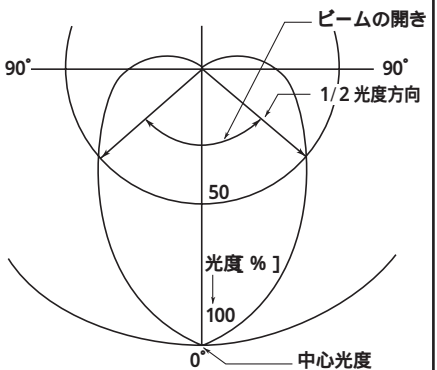
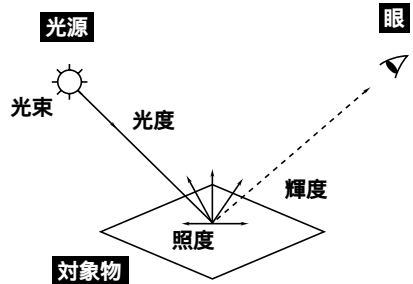


第7章 用語集

	名称	単位	意味
光に関する用語	光束	lm (ルーメン)	光の量。電球から放射される光の量を表わすときに使用される。
	光度	cd (カンデラ)	光の強さある方向の単位立体角内に放射される光の量(中心光度・最大光度)というように用いられる。
	照度	lx (ルクス)	光を受ける面の明るさ。(単位面積に入射する光の量)照明設計の基本となるもので、場所ごと・作業内容ごとに、照度基準としてJIS規格が制定されている。
	輝度	cd/m ² (カンデラ毎平方メートル)	ある方向から見た、ものの輝きの強さ(単位正射影面積より、ある方向に向かう光の強さ)照度が単位面積あたりにどれくらいの光が到達しているのかを表わすのに対し、輝度はその結果ある方向から見たときどれだけ明るく見えるかを表わす。
	波長	nm (ナノメートル)	電磁波の波長の長さ。 nmは1mの10億分の1の長さを表わす。
	分光分布		光源から放射している光を波長毎に分割・測定し、各波長の光がどの程度の量含まれているかを表わしたのが分光分布。
配光特性に関する用語	配光曲線		光源から出ている光が、どの方向にどれだけの強さで出ているかを表わしたもの。
	ビームの開き	度	集光の程度を表わすのに用いる定義で、配光曲線において最大光度の1/2に等しい値になる2方向をビームの境とし、この2方向のなす角度。
	ビーム光束	lm (ルーメン)	ビームの開き内の光束を表わす。
	中心光度	cd (カンデラ)	反射鏡付きハロゲン電球で、光軸方向の光度を表わす。



	名称	単位	意味
光源の特性に関する用語	定格消費電力 定格ランプ電力	W (ワット)	ランプに表示されたり、カタログなどで公表されているランプの消費電力。
	効率	lm / W (ルーメン毎ワット)	電球の全光束を、その消費電力で割った数値。すなわち1ワットの電力で、どれだけ光束(ルーメン)を発生させることができるかを示す。
	寿命	h (時間)	電球として役立たない状態になるまでに点灯していた時間。又はある種の規約、例えば、仕様書に示された条件で役立たない状態とみなされるまでの点灯時間。
	定格寿命	h (時間)	規定の試験条件で試験したときの多数のランプの寿命の平均値で、カタログなどで公表されている寿命。
	初特性		光源を点灯初期において特定の条件で点灯したときの全光束・電流などの特性。
	全光束	lm (ルーメン)	光源がすべての方向に出す光の量。
	光束維持率	% (パーセント)	規定点灯時間後の全光束と、初特性における全光束との比。
	光中心距離	mm (ミリメートル)	発光部の中心から口金の先端、もしくは基準面までの距離を表わす。
	定格電圧	V (ボルト)	電球に表示された電圧。
	色温度	K (ケルビン)	光源の光色を数値で表わしたもの。赤みがかった光ほど色温度の数値が低く、青みがかった光ほど高い数値で表わされる。
	平均演色評価数	Ra (アールイー)	光源で照明した色彩の再現度(見え方)を数値で示したもの。Ra100が基準光と同じ見え方で、数値が低くなるほど基準光とのズレが大きくなる。
特殊演色評価数	Ri (アールアイ)	R9～R15で表わす。平均演色評価数を試験する色(8色)は中間色を用いるが、特殊演色評価数は彩度の高い色票(赤・黄・緑・青)と木の葉の色・肌色(西洋人・日本人)を用い、それぞれの色彩の再現度(見え方)を数値で示したもの。	